

ハート・オブ・ゴールド

通信



vol.51

2024年7月15日発行

発行/編集 ハート・オブ・ゴールド事務局
本部 〒701-1213 岡山市北区西辛川 895-7
レジデンスアロー 101
TEL&FAX 086-284-9700
E-mail:hginfo@hofg.org
https://www.hofg.org/



スヴァイリエン州視察



小学校で体育授業の説明



活発なグループ討議

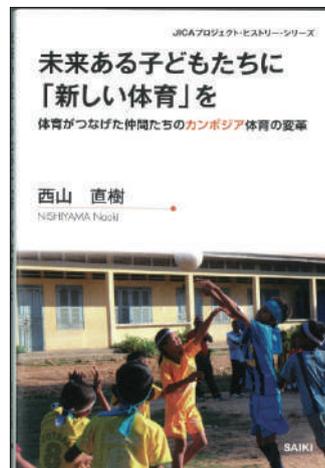


椅子を使用した跳び箱授業

【JICA 草の根技術協力事業】

カンボジア王国 小学校から高等学校まで一貫した高い質で学ぶ 「Physical Education for ALL」プロジェクト

カンボジアの今までの体育の歴史をヒューマンストーリー的に綴った JICA プロジェクト・ストーリー『未来ある子どもたちに「新しい体育」を』（事務局長、西山直樹著）が3月に発刊されました！カンボジアにおけるハート・オブ・ゴールドの活動が、現場でのエピソードを多く交え記録されています。是非、ご一読ください。



プロジェクト・ストーリー ¥1,100 +送料 *購入ご希望の方は、お問い合わせ (<https://hofg.org/contact/>) より、以下記載し、送信ください。追ってご連絡いたします。
お問い合わせ内容：①プロジェクトストーリー購入希望 ②必要冊数 ③送付先住所



プロジェクト・オフィサー 森 洋貴

この半年の間にも体育普及の新しいストーリーがさらに生まれています！

プノンベン都チェイチョムネア小学校のケオ・サムラ先生は、「日本で学んだ教具の使い方、日本の先生の指導方法を他の先生方にも日々共有しています。」と熱い眼差しで語っていました。この小学校では、サムラ先生を体育科教育のリーダーとして任命し、先生同士の学び合いが行われています。校長先生は、新しい体育が始まって以来、この学校の子ども達にとって体育は、友達同士で協力したり、ルールを守るようになったり、たくさんの事を学べる教科として指導されてきたこと、手作りの教具を有効活用していること、子ども達の学びが深まっていると評価していました。

1月には JICA 中国センターの澁谷和朗課長、藤田おかり氏がカンボジアを訪れ、前述のサムラ先生の授業、ス



水タンクを使用した跳び箱授業

ヴァイリエン州の当会スタッフが主導するグループワークの活発な議論を視察し、参加している先生方の「体育についてもっと知りたい」という強い思いに感銘を受けていました。プレアシアヌーク小学校では、オン・ソタリー教頭が本邦研修で学んだ、水筒による水分補給を導入していました。ウン・チャンター先生の授業では、跳び箱を指導し、勝ち負けに重きを置くのではなく、どのように課題を克服したかを評価していました。これまでの体育において大切にしてきたこと、そして本邦研修での経験、それらを学校として残していこうという取り組みは、体育が確実に学校を変えていると実感できるものでした。

澁谷課長は、学校で積極的に体育に関わる先生や生き生きと活動する当会スタッフなど、若い世代の活躍という点にも感心されていました。

障害者陸上支援

【かすみがうらマラソン】

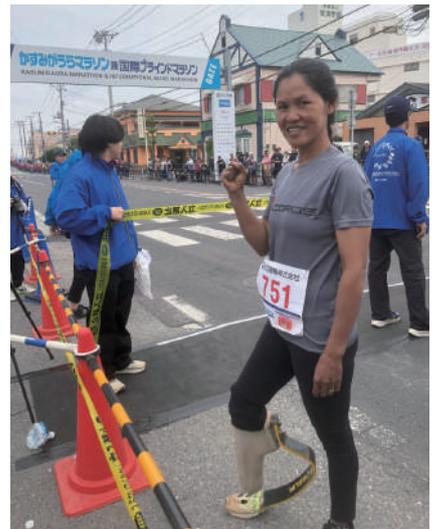
4月21日（日）にかすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソンが開催されました。2023年12月3日（日）に開催されたアンコールワット国際ハーフマラソンから有森賞を受賞したヴェット・チャンター氏（義足・女性）とジー・ソクサン氏（両腕切断・男性）が招待され、チャンター氏は5kmに出場、35分28秒、ソクサン氏は10マイルに出場、1時間21分42秒の記録となりました。

【コラム：パラ陸上アスリート Veth Chantha（ヴェット・チャンター）】

私はコンボンスプー州出身の41歳。パラ陸上選手の夫と結婚し、5歳の息子と母と暮らしています。

内戦が終わったばかりの子どもの頃は、とても貧しく、父が亡くなり、私は家族のために小学校3年生で学校をやめました。13歳のころ、レンガを作る仕事もしていたところ、機械に右足が巻き込まれ、切断しました。その後、家政婦として働いたり、工場で働いたりしていました。障害のせいで友達はありませんでした。私自身も恥ずかしく、人と話したくありませんでした。何度も死んでしまいたいと思いました。2014年に国立障害者センターのメンバーに登録しました。そこからパラ陸上を始め、アンコールワット国際ハーフマラソンに出場するようになりました。ハート・オブ・ゴールドの支援のお陰で毎年出場することができ、仲間もでき、生きることがとても楽しくなりました。国際大会にも出場するようになり、2023年カンボジアで開催された第12回東南アジア

アパラ競技大会では3種目で金メダルを獲得することができました。そして2023年のアンコールワット国際ハーフマラソンで10km義足女子の部で1位となり、有森賞をいただくことができました。これまでの人生で、日本に招待されるなど想像もしていなく、東日本会員交流会や企業訪問では、今までサポートしてくださっていた日本の方々に直接お礼を伝えることができ、とても嬉しかったです。死を考えていた自分に、スポーツを続け、このような明るい未来が待っていたことを教えてあげたいです。カンボジアに戻った今、特に若い世代の障害者の方達にもスポーツの価値を伝えていきたいと思っています。



マラソンスタート前

アパラ競技大会では3種目で金メダルを獲得することができました。そして2023年のアンコールワット国際ハーフマラソンで10km義足女子の部で1位となり、有森賞をいただくことができました。これまでの人生で、日本に招待されるなど想像もしていなく、東日本会員交流会や企業訪問では、今までサポートしてくださっていた日本の方々に直接お礼を伝えることができ、とても嬉しかったです。死を考えていた自分に、スポーツを続け、このような明るい未来が待っていたことを教えてあげたいです。カンボジアに戻った今、特に若い世代の障害者の方達にもスポーツの価値を伝えていきたいと思っています。

【日本 NGO 連携無償資金協力事業】

ICT化による質の高い4年制体育教員養成大学支援プロジェクト

プロジェクト・マネージャー 手束 耕治

国立体育・スポーツ研究所（NIPES）の7分野（①図書館、②国際センター、③内部評価、④教員養成、⑤学生管理、⑥卒業生支援、⑦安全管理）を、ICTを活用して向上する本事業、今回は教員養成の活動を紹介します。

3月にNIPESの3名が日本体育大学にて、研究の実施方法について学び、研究ポリシーを策定しました。研修に参加したChhan Panha氏（教員）の感想。「私の夢であった本邦研修を実現していただき皆様に心から感謝いたします。9日間の研修で「研究」の基礎を学びました。テーマ選定方法、文献レビューの理解、データ収集と分析などです。また、日本文化の奥深さにも感銘を受けました。困難だったのは寒冷な天候と食文化の違いでした。念願の雪をこの目で見ることはできませんでしたが、カンボジアは年中暑いので寒さに慣れるのに時間がかかりました（笑）。初めてのことで戸惑うことも多くありましたが、研修で得た知識を活かし、NIPESで新しい研究を実施していきたいです！」



完成した新校舎1階図書室

3月31日から本事業2年目が始まり、新校舎の建設（上階部分）を継続し、資機材の整備を進め、さらに研修会やモニタリングを実施し、事業目標の達成を目指します。



NIPESで授業を行う Chhan Panha 氏

ニュー・チャイルド・ケアセンター (NCCC) 運営事業

クメール正月里帰り



クメール正月お寺詣

カンボジアには1年に3回お正月があり、4月の正月はクメール正月と呼ばれ、天から女神が降りてくると言われており、各家庭で祭壇とお供えを用意して、女神様をお迎えします。

今年も子ども達はスタッフと一緒に、お寺に持参するお供えを手作りしました。皆正装に着替えて、お供えを手にお寺に行きました。

NCCCの子ども達は18歳の成人年齢を目処に自立を目指しています。家庭に近い環境で過ごし、施設を卒業後スムーズに社会生活ができるよう、配慮しています。

プロジェクト・アシスタント 平井 利恵



左から2人目 スライモム

中央からスライミエン、ラティ、スライマイ

クメール正月の期間は、子ども達はスタッフに付き添われ、普段離れて暮らしているご家族のもとに帰りました。ご家族の健康状態や家庭状況をスタッフがヒアリングし、把握します。子ども達は自分の気持ちや日々の生活を、自分の言葉でご家族に伝えます。子ども達が成人した後のこと、子ども達本人の気持ちやご家族の気持ちを改めて考える機会としてもらいます。家族との貴重な時間を過ごすことができました。

日本語教育事業

日本留学を終えて

私はチャンスをもらって、岡山学芸館高校に1年間留学することができました。2023年5月13日に日本に着いて、新幹線に乗り、電車がたくさんあってびっくりしました。

寮生活も初めは緊張しましたが、先生も寮生もやさしくて、安心しました。洗濯機や掃除機も使えるようになり、便利だと思いました。2年F組になり、担任の前田先生はとても親切で、クラスの友達とも日本語でたくさん話してすぐに仲良くなりました。

国際センターでは毎日日本語の勉強をしました。最初は難しかったけれども、だんだんわかるようになりました。宿題が多くて大変でした。

部活は、和太鼓部と華道部に入りました。和太鼓を教えてもらって、イベントにも出て頑張ることができました。華道部はお花の活け方を習い、いつも「素敵だね」とほめていただきました。

ハート・オブ・ゴールドの事務所に時々行き、おこづかい帳のつけ方、日記の書き方を教えてもらい、文をたくさん書きました。一緒にご飯を食べたり、相談にのってもらったり、「おかえり」「気を付けて、また来てね」と言ってくださり安心な気持ちになりました。

1年間は早いです。もっと日本にいたいです。カンボジアに帰ったら、勉強した日本語を子ども達に教えて、留学できるように助けたいです。

チョーム・スライマイ (第12期留学生)



スライマイ (前列右2人目)
5月 岡山後楽園にて留学生の仲間と

国際理解教育 — 教えてあなたのこと、知って私のこと —

担当理事 田代 邦子



ケオ・ソチェトラさん授業

分かち合う世界から、奪い合う世界に、強い力を持っている人に流されていき、人の命が国によってずいぶん違ってきます。そのうえ、ITのすさまじい技術で、何かに追っかけられているように感じる日々です。文化、宗教、人種、性別、貧富の違いにかかわらず、お互いを理解し、共に育つHGの理念を子ども達に渡していきたいです。



有森代表の出前授業

4月にプノンペン事務所のケオ・ソチェトラさんの岡山出張がありましたので、懐かしい岡山市立第3藤田小学校を訪問して授業に参加しました。1時間以上質問攻めでした。

また、6月21日（金）朝日塾小学校で有森代表が出前授業を行いました。小学校時代に先生からもらった大切な宝物のような言葉、それを一生懸命磨き上げて、オリンピックで輝いたことなど・・・。

最後に NCCC の子ども達が描いた絵に、同小の児童がお話をつくり、絵本「太陽の冒険」が出来上がりました。その絵本と集めてくれたたくさんの絵本を受け取りました。

講師派遣のお問い合わせはこちらから →



藤沢ロータリークラブ創立 70 周年記念事業



ハート・オブ・ゴールド杯チャリティゴルフコンペ



記念式典での代表講演

藤沢ロータリークラブ様には、スタディツアー時の歯科検診活動をはじめ、雨天体育施設の建設や浄水器の設置、NCCC や日本語教育事業にも多くのご支援を長きにわたりいただいています。設立 70 周年という節目の年に、一緒にお祝いさせていただけたことをとてもうれしく思います。

6月4日にハート・オブ・ゴールド杯チャリティゴルフコンペを開催していただきました。好天にも恵まれ、湘南シーサイドカントリー倶楽部のコースにチャリティルールを追加し、10組40名の参加者がプレイを楽しみました。

また5日の記念式典では、小河静雄会長よりハート・

オブ・ゴールドの活動をご紹介いただき、寄付金贈呈がありました。

有森代表は「心の金メダルをめざして」という演題で、同クラブとの協力の歴史も紹介しながら、カンボジアの子ども達、スポーツを行うことの大切さについて、お話しさせていただきました。

同クラブの Next 10 ビジョンとして、「楽しもう 奉仕と親睦 藤沢ロータリー」というスローガンも発表されました。同じ想いを持った方たちがそれを次の人へとつないだ 70 年という歳月に敬意を表します。これからも引き続きカンボジアへの支援活動を一緒にできることを期待しています。

アンコールワット国際ハーフマラソン 12月1日（日）開催！

ARIMORI CUP 2024

旧穂別町で始まったマザーフォレスト事業は、合併後のむかわ町に引き継がれ、今年 30 周年を迎えました。同事業の第 5 回マザーフォレスト賞受賞者である有森代表が毎年ゲスト訪問し植樹を行い、穂別地域の方達と交流する中で始まったランニング大会。

5 月 19 日(日)、鶴川沿いのアリモリロードを会場に 20 回記念大会が開催されました。中学生がボランティアスタッフとして運営に関するのも恒例となっています。今年もハート・オブ・ゴールドの黄ロゴTシャツを着て、みんな元気いっぱい活動してくれました。参加者の皆様、関係者の皆様、ありがとうございました！



*新商品の紹介

ハート・オブ・ゴールドのオリジナルグッズに「25 周年記念マフラータオル」と「HG ロゴ入りゴルフボール」が仲間入り。プレゼントにも最適です。定番の黄ロゴTシャツも含め、マラソン大会やゴルフコンペ等、

日常でも！活用されている写真をメッセージとともに事務局までお送りください。SNS や通信等でご紹介させていただきます。各¥2,000+ 送料



ご注文は QR コードより↑



(左) 25 周年記念マフラータオル



(中) HG ロゴ入りゴルフボール (3個セット)
ブリジストン TOUR B JGR 飛距離重視モデル



(右) 黄ロゴTシャツ

主な活動報告 (2024 年前半・敬称略)

- 1/11 岡山学芸館清秀中学校研修受入れ (NCCC/HG ももたろう)
- 1/21-27 JICA 中国 カンボジア視察
- 1/25 岡山市立政田小学校 出前授業
- 2/5 岡山せとうちライオンズクラブ例会 活動報告
- 2/21 ボントラバエク高校 ミニサッカーゴール寄贈
- 2/25-26 CJCC 日本語教育セミナー
- 3/8 ラオス教育省副大臣表敬(さいたま)
- 3/10-19 N 連事業 本邦研修(東京)
- 3/12 「だがしの日」お菓子寄贈(NCCC と HG ももたろう)
- 3/17 淀川マラソン&ウォーク 2024(守口)/西日本会員交流会(大阪)
- 3/25 「日本 NGO 連携無償資金協力」贈与契約署名式
- 3/27 プレイベン州運動会 出席
- 5/13 ~ 3/28 日本語留学 岡山学芸館高校が受入れ
- 4月~9月 岡山 NPO センター パネル展示
- 4/1 カンボジア教育省年次大会
- 4/13-16 NCCC クメール正月 里帰り
- 4/18 岡山市立第三藤田小学校 出前授業
- 4/20 かすみがうらマラソン 2023 (土浦) / 東日本会員交流会 (東京)
- 5/18 マザーフォレスト事業 植樹祭(むかわ町)

- 5/19 アリモリカップマラソン大会(むかわ町)
- 5/20 むかわ町立穂別中学校 ランニング教室
- 6/4 藤沢 RC 創立 70 周年記念 HG 杯チャリティゴルフコンペ
- 6/5 同 代表講演
- 6/7 JICA プロジェクト歴史一発刊セミナー(東京)
- 6/10 アニモの会(岡山)
- 6/21 朝日塾小学校 絵本贈呈式 出前授業(岡山)
- 2023 年度第 4 回理事会/同 総会(岡山)
- 2024 年度第 1 回理事会 会員交流会(岡山)
- 6/27 備前市立吉永小学校 出前授業
- 6/28-29 第 5 回パラ陸上競技会

主な活動予定 (2024 年後半) 変更あり

- 7/1-10 N 連事業 本邦研修(東京)
- 9/14 第 14 回親子チャリティマラソン in おもちゃ王国(玉野)
- 10月 JICA 事業 本邦研修(東京)
- 11/28-12/2 カンボジアスタディーツアー
- 12/1 第 29 回アンコールワット国際ハーフマラソン
- 12/8 奈良マラソン 2024 パネル出展
- 12/15 第 43 回山陽女子ロードレース大会 パネル出展(岡山)

事務局より

＊HG 会員募集！ 友人・お知り合いの方をお誘いください。
正会員（個人1口3,000 円／年、法人1口 30,000 円／年）
賛助会員（個人 10,000 円／年、法人 50,000 円／年）

＊ボランティア・インターン募集！

現地活動、本部事務所にて事務補助、翻訳、イベント補助
をしてくださる方。

＊メールアドレスの登録

通信やお知らせ等をメール配信しています。
郵送から変更を希望される方は、右 QR コード
より登録画面で手続きをしてください。また、
@hofg.org からのメールを受信できるようご自
身のメール受信設定をお願いします。



＊集めています

未使用の切手、レターパック、書き損じはがき、QUO カード、
商品券など、本部事務所までお送りください。なお、テレフォ
ンカード、書き損じはがきは「寄贈品」扱いとなり、額面の
寄付とはなりませんので、ご了承ください。

＊あなたの想いを形にしませんか

相続財産、または、遺贈としての寄付をお願いしております。
ご寄付には相続税がかかりません。本部事務所にご相談くだ
さい。

理事会・総会報告

6 月 21 日に、2023 年度第 4 回理事会、2023 年度（第
26 期）総会を開催しました。「2023 年度活動及び決算報告」
「2024 年度活動計画及び予算」が賛成多数により承認可決
されました。

2024 年度は、JICA 草の根技術協力事業「カンボジア国
小学校から高等学校まで一貫した高い質で学ぶ「Physical
Education for All」プロジェクト」の最終年度です。各事
業達成目標を明確にし、カンボジアの障害者や子ども達に
しっかり裨益できるよう効率的な運営を心掛けます。

今年度もスポーツや教育を通して、カンボジアが、日本
が、世界が希望を持てる世界となるように「できる人が、
できることを、できる限り」続けていきたいと思えます。

クレジット決済によるご支援窓口が再開

昨年度、CANPAN によるクレジット決済サービスが終了したため、ご支援者の皆様にはご不便をおかけして
おりましたが、新たにconggrantを利用した決済手続きを3月より再開しました。

会費（個人 / 法人正会員、個人 / 法人賛助会員）、ハート・ペアレント（養護施設 NCCC の里親支援）の常設ペー
ジと、その時々に必要な事業への寄付をお願いする特設ページ（クラウドファンディング形式など）を用意し
ています。

一度ご登録いただくと、年度毎の更新が便利になります。皆様からのご支援をお待ちしています！



会費



ハート・ペアレント

ご支援ありがとうございます

(2023 年 10 月～2024 年 3 月・敬称略)

＊原則、領収書類は、ご入金翌月 20 日に発行し、お送りしています。